

大切な「水」をあなたへ……  川本ポンプ

カワエース用受水槽

取扱説明書

このたびは、カワエース用受水槽をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。
す。

ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。

なお、お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

特に注意していただきたいこと

1. 決められた製品仕様以外では使用しないでください。
揚水不能や漏水などの原因になります。
2. 荷下ろし、搬入、据付の際に吊り下げる場合、カタログ、据付図、取扱説明書などにより機器の質量および吊り方を確認し正しく行ってください。
また、吊り具の定格荷重以上の機器は吊らないでください。
吊り下げが不完全な場合、落下によるけがの原因になります。
3. 排水処理、防水処理されていない場所には設置しないでください。
水漏れが起きた場合、大きな被害につながる恐れがあります。
※排水処理、防水処理されていない場合の被害については責任を負いかねます。

注 記

- 別冊のポンプ、受水槽付属セットの取扱説明書もよくお読みになり、正しく安全にお使いください。

本文中の関連箇所にも製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するための注意事項が記載されています。

また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。

いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

 **警告**：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

 **注意**：人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

1 はじめに

カワエース用受水槽がお手元に届きましたら、下記をお調べください。

1. ご注文通りのカワエース用受水槽か、ご確認ください。
2. 輸送中に破損した箇所はないか、ご確認ください。
3. ご注文の付属品が全てそろっているか、ご確認ください。

〈〈 不具合な点がございましたら、お手数でもご購入先へご照会ください 〉〉

2 仕様

▲ 注意

- 決められた製品仕様以外では使用しないでください。
揚水不能や漏水などの原因になります。

2. 1 標準仕様

揚液	液質	清水、pH5.8～8.6
	液温	0～40℃（凍結なきこと）
設置場所	屋外・屋内	

3 適用ポンプ

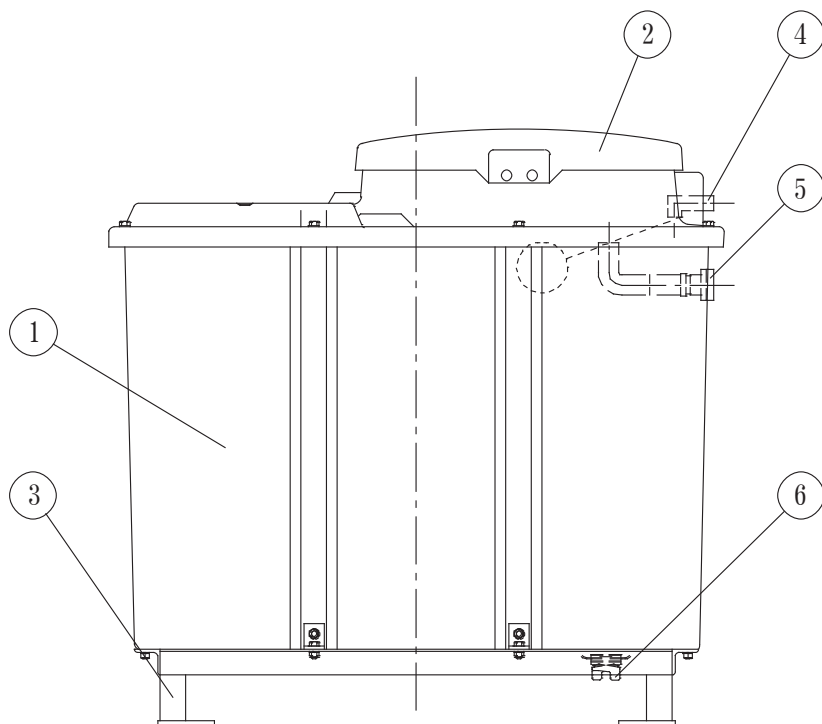
3. 1 適用ポンプ

容量 (L)	形 式 名称 記号・寸法	NF	NR	JF	NF-A・P	JF-AP
		150～750	130～250	250～750	400、750	250～750
500	受水槽 TAK4-50	○	○	○	—	—
1,000	受水槽 TAK4-100A	○	○	○	—	—
	受水槽 TAK4-100B	—	—	—	○	—
	受水槽 TAK4-100C	—	—	—	—	○

4 製品の構成

4. 1 構造図

本図はTAK4形の代表を示すものであり、記号・寸法により本図と多少異なるものもあります。



No	名 称
1	受水槽
2	マンホールふた
3	架台
4	給水用金具
5	オーバーフロー管
6	ドレンプラグ

4. 2 標準付属品

部 品 名	数量
取扱説明書	1

4. 3 受水槽付属 セット (選択部品)

対象ポンプ		FRP製受水槽	
		500L	1000L
N F 形	400W以下	4 5 N	4 6 N
	750W	5 5 N	5 6 N
	400・750W (交互・交互並列)	—	5 7 N
N R 形	130W～250W	9 5 N	9 6 N
J F 形	250W	7 1 N	7 2 N
	400W	7 3 N	7 4 N
	750W		
	250W (交互・交互並列)	—	7 8 N
	400・750W (交互・交互並列)	—	7 9 N

4. 4 特別付属品

部 品 名	適 用	備 考
架台	TAK4-50用	6面点検用
架台	TAK4-100A・B・C用	6面点検用
フロートスイッチ 100 (FLTS-5)	単独ポンプ用	外部警報端子
満水警報器 (FLTS-3)	単独ポンプ用	警報ブザー
基礎ボルトセット	—	—

5

据 付 ●建設省告示第1597号に基づき設置してください。

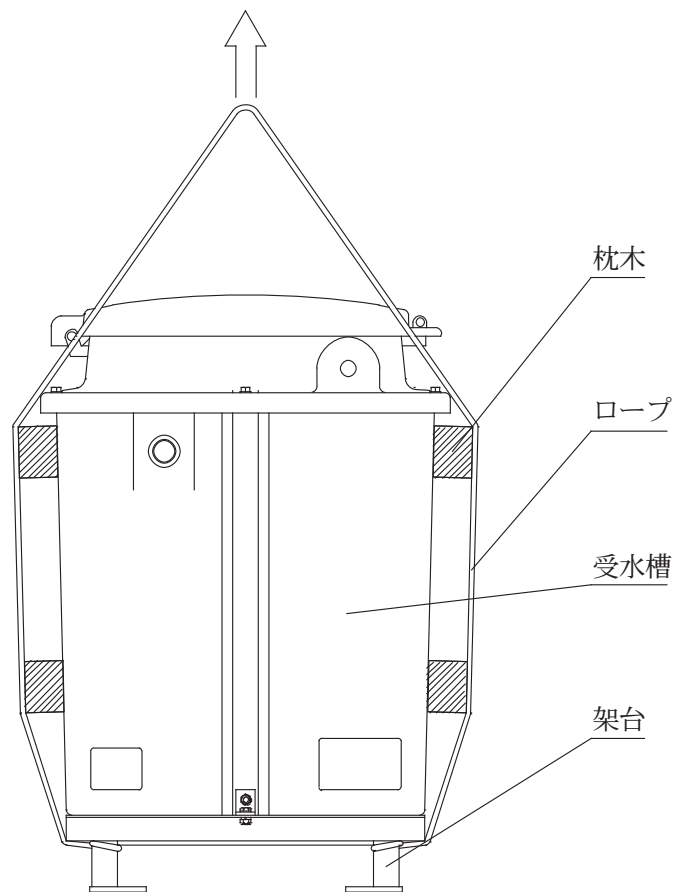
▲ 警 告

- 荷下ろし、搬入、据付の際に吊り下げる場合、カタログ、据付図、取扱説明書などにより機器の質量および吊り方を確認し正しく行ってください。また、吊り具の定格荷重以上の機器は吊らないでください。吊り下げが不完全な場合、落下によるけがの原因になります。
- 据付は取扱説明書に従って確実に行ってください。据付が不完全な場合、感電や火災、落下によるけがの原因になります。

▲ 注 意

- 排水処理、防水処理されていない場所には設置しないでください。水漏れが起きた場合、大きな被害につながる恐れがあります。
※排水処理、防水処理されていない場合の被害については責任を負いかねます。
- 浴室など湿気の多い場所には設置しないでください。漏電すると感電する恐れがあります。
- 機械および化学工場など酸・アルカリ・有機溶剤・塗料などの有害ガス、腐食性成分を含んだガスが発生する場所またはほこりの多い場所には設置しないでください。漏電や火災の原因になることがあります。

5. 1 水道は、水道法および、各市町村の水道局が定める条例によって管理されておりますので次の3項目にご注意ください。
- (1) この装置は水道と直結しますので、配管工事は指定給水装置工事事業者のみが施工できます。
 - (2) 付属ボールタップは水道局の認可を必要とするところがありますので、その場合にはボールタップを持参して認可をうけてください。
 - (3) 水道局によっては地面からボールタップまでの高さを規定しているところがあります。水道局施工基準に従ってください。
5. 2 据付時の注意
- (1) 設置について、地区毎の水道局施工基準の適用対象となる場合があります。
 - (2) 移動・搬入の際は、＜図-1＞のように、架台にロープを固定して4本吊りしてください。尚、受水槽とロープが接する面には、枕をあてるようにしてください。
 - (3) 水平に据付け、基礎ボルトでしっかりと固定してください。基礎が水平でなく凹凸があると、架台がねじれ故障の原因になります。
5. 3 設置場所の選定
- (1) 受水槽のすべての面が保守・点検できるように、周囲に余裕部分を設けることのできる場所にしてください。
 - (2) 特別付属品の架台を受水槽についている架台の下に取付けますと、6面点検が可能となります。



＜図-1＞

6 組立

注記

- 組立てにはいる前に、付属部品の点検および、受水槽内部を清掃してください。
- 別冊のポンプ、受水槽付属セットの取扱説明書もよくお読みになり、正しく安全にお使いください。

6. 1 ポンプ・受水槽付属セット取付

- (1) 取付けは、受水槽付属セットに付属の説明書を参照してください。

6. 2 満水警報器またはフロートスイッチ取付（特別付属品）

- (1) 万一、ボールタップが故障した時の満水を知らせます。

取付けは、受水槽付属セットに付属の説明書を参照して満水警報器取付用座に穴をあけて取り付けてください。

7 配管

▲ 注意

- 受水槽の近傍での火気の使用は避けてください。着火し、燃える恐れがあります。

7. 1 給水配管・吐出し配管、配管類

- (1) メンテナンス用に、給水口および吐出し口の近傍にはスルース弁を設置してください。
- (2) 管継手類は締め付けを十分行い、空気の吸込や、水の漏洩のないようにしてください。
- (3) 配管の荷重が直接ポンプや受水槽にかからないように、配管支えを設置して支持してください。

7. 2 防寒対策

- (1) 凍結防止のため、配管には保温材を巻くか、地下に埋設（約20～30cm）してください。
- (2) ポンプにはセラミックヒータが装着されており、ポンプ内部の凍結を防止しますが、特に寒い地域では万全ではありません。ポンプ小屋などを作って、その中に設置してください。

8 電気工事

8. 1 電気工事

- (1) 電気工事は、ポンプ付属の取扱説明書を参照してください。

9 運転

▲ 警告

- 配線を取り付けたり取り外したりする場合、必ず電源を遮断して作業を実施してください。感電する恐れがあります。
- ポンプカバーを外したまま使用しないでください。ほこりや絶縁劣化などで漏電・感電・火災の恐れがあります。
- 電源プラグ・配線接続部・結線部・端子部などのほこりを除去してください。ほこりの付着などを放置すると発熱し、火災の原因になります。

▲ 注 意

- 定格電圧以外では使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 運転中は回転部分に触れたり、モータの開口部に指や棒などを入れないでください。感電やけがの原因になります。
- 運転中はモータに触れないでください。高温になっている場合がありますので、火傷をする恐れがあります。
- 長期間ご使用にならない場合は電源を遮断してください。絶縁劣化による感電や漏電、火災の原因になります。
- 電源ケーブルを傷付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。また、重いものを載せたり、挟み込んだり、加工したりすると、ケーブルが破損し火災・感電の原因になります。
- 空運転、一定時間の締切運転、取扱液中に空気を混入させないでください。ケーシング・軸受・軸封などが破損したり、揚水不能になる恐れがあります。また、ポンプが過熱し火傷をする恐れがあります。
- モータ軸端の保護キャップは、必ず取り付けて運転してください。保護キャップを外したまま運転しますと、手指にけがをする恐れがあります。
- ポンプ内に水が入っていることを確認してください。ヒータが断線したり、火災の原因になります。

9. 1 始動する前に

- (1) 配線が正しく行われているか、端子ビスのゆるみはないか、ご確認ください。
- (2) 電源をご確認ください。
- (3) 給水管側のスルース弁を開け、水道水を受水槽内に貯えてください。
水が貯えられますと、ボールタップのはたらきにより自動的にとまります。
- (4) 吐出し管側のスルース弁および配管した給水栓を全部閉じてください。
- (5) ポンプカバーを外し、呼び水口プラグを取り外し、呼び水口より注水します。
注水後、呼び水用プラグをしっかりねじ込みます。

9. 2 試運転

- (1) 吐出し管側のスルース弁と給水栓を1ヶ以上開いてください。
- (2) 電源を投入してください。
- (3) 電源を入れますとポンプは運転し、自吸を始め、吸込配管中の空気を排出して自動的に給水します。
- (4) 自吸が完了しましたら、ポンプのファインセンサーまたは圧力センサーの始動圧力を調整してください。(ポンプ付属の取扱説明書を参照して調整してください。)
- (5) 揚水を始めましたらしばらく水を出し続け、配管の水の漏洩、運転音の異常等がないか、ご確認ください。
- (6) 次に給水栓を開閉し、ポンプが始動、停止することを、ご確認ください。

9. 3 通常運転

- (1) 試運転が終了したら、ポンプ、モータ、アキュムレータなどの水滴を乾いた布できれいに拭き取ってください。
- (2) ポンプカバーを取り付けてください。

▲ 警 告

- 点検・交換の際は、必ず電源を遮断して作業を実施してください。漏電・感電やけがの恐れがあります。
- 機器を移動し再設置する場合は、ご購入先もしくは最寄りの弊社営業所にご相談ください。据付に不備があると、漏電・感電・火災、漏水などの原因になります。

注 記

- 「水道法」または「建築物における衛生的環境の確保に関する法律」（通称「ビル管理法」）の規定に基づいて実施してください。
- マンホールふたは必ず施錠してください。
- マンホールふたの上には乗らないでください。破損する恐れがあります。

10. 1 ポンプの保守・点検

- (1) ポンプの保守・点検は、ポンプ付属の取扱説明書を参照してください。

10. 2 受水槽の点検

- (1) 衛生性確保のための保守・点検

実施項目	実施時期
遊離残留塩素の検査	7日以内ごとに1回、定期的に
水質検査	6ヶ月以内ごとに1回、定期的に
受水槽の清掃	1年以内ごとに1回、定期的に

(注1) 水槽内面の清掃には、プラスチック製のブラシなど柔らかいものを使用してください。

(注2) 長時間、貯水を滞留させた場合には、使用前に貯水を排出し槽内を点検後、使用してください。

(注3) 地震発生後、または台風通過後には、上表の各項目について点検してください。

- (2) 一般的な保守・点検

実施項目	実施時期
基礎・基礎ボルトの異常の有無	1ヶ月以内に1回定期的に
通気口・オーバーフロー・排水管の詰まり	
マンホールふたの異常の有無	
ボルト締結部のねじのゆるみの有無	6ヶ月以内に1回定期的に
受水槽の異常（水漏れ等）・変形の有無	
塗装およびメッキ処理金属部品の発錆の有無	

▲ 警 告

- 動かなくなったり異常（コゲ臭いなど）がある場合、直ちに運転を停止して電源を遮断し、ご購入先もしくは最寄りの弊社営業所に点検あるいは修理を依頼してください。異常のまま運転を続けたり、修理に不備があると、感電や火災、漏水などの原因になります。
- 修理技術者以外の方は、分解・修理・改造やケーブル交換を行わないでください。不備があると、故障・破損・感電・火災の原因になります。

現 象	原 因	対 策	本文ページ
モータが回らない	断水	回復を待つ	
	フロートスイッチの故障（単独型）	フロートスイッチを取り替える	
	フロートレススイッチの故障（交互・交互並列型）	ポンプ制御盤内のフロートレススイッチのレベルセンサー、電極を修理する、取り替える	
モータは回るが揚水しない	吸入管より空気を吸込む	この場合、もう一度呼び水をして運転してみてください	
	吸入管のリングパッキンより空気を吸込む	吸入管の継目、破損を調べる リングパッキンを取り替える	
	ポンプ内の水落ち	チェック弁を修理する	
水を使用しないのに運転する	給水栓よりの水漏れ	給水栓を修理する	
	吐出し管の水漏れ	配管を点検修理する	
	チェック弁よりの水漏れ	チェック弁を修理する、取り替える	
保護スイッチが働く	ポンプ内に異物が入る	ポンプ及び受水槽内の異物を取り除く	
オーバーフロー管から水が出る	ボールタップの故障	ボールタップを修理する、取り替える	

ポンプが始動・停止する際に、メカ鳴き（“キュッ”という音がする）することがありますが、異常ではありません。

故障には予想外なことがあります。異常を発見したら速やかに対策することが大切です。故障の原因が分からないときは、ご購入先、もしくは最寄りの弊社営業所にご連絡ください。ご連絡の際は、受水槽付属セットのセット記号、故障（異常）の状況をお知らせください。

故障には予想外のことがありますが、異常を発見したら速やかに対策することが大切です。故障の原因が分からないときは、ご購入先、もしくは最寄りの弊社営業所にご連絡ください。ご連絡の際は、KAWA太郎のセット番号、故障（異常）の状況をお知らせください。



コンフォート アース

Comfort Earth® 水を通じて地球環境を考える

株式会社

川本製作所 <https://www.kawamoto.co.jp>

本 社 〒460-8650 名古屋市中区大須4-11-39

☎052-251-7171 (代)

岡崎工場 〒444-8530 岡崎市橋目町御領田1

☎0564-31-4191 (代)

検査合格証
株式会社 川本製作所

検査
 検査責任者